

# 平成25年度活動報告書

NPO法人ミニシティ・プラス

NPOとして、設立6年がたちました。今年度も主に3つの柱の事業を行ってきました。

## 「ミニヨコハマシティ」

こどものまち「ミニヨコハマシティ」も7回目になりました。いままでの集大成としてまとめていた、ミニヨコハマシティの絵本風記録本「ミニヨコノミライトキセイ」が、BankART1929から出版されました。毎年恒例で行っている、3月のミニヨコハマシティは、ハウスクエア横浜に支援していただきながら、よこはま夢ファンド(FREEing)の助成を受け行うことができ、多くのこどもたちでにぎわいました。また、「こどもがつくるまち全国主催者サミット」inさいたまにも会員が出席しました。

## 「つづきジュニア編集局」

東京都市大学との連携しながら都筑区を中心に行ってきたこどものメディア、つづきジュニア編集局は、記者が過去最大の65名となり、ユーストリームの放送中継や、タブロイド新聞のつづきジュニアタイムズ(2万3千部発行)を発行し、順調に事業を行ってきました。地域のメディアとして周知されて、期待されるようになり、取材のオファーも多くなるようになりました。

また、今年度は10月～3月までで、ドコモの助成金を受け、石巻日日こども新聞の記者との交流する「こどもシンポジウム」を行いました。その際9名のつづきジュニア編集局記者が石巻に行き、取材し、現地の人たちと交流し、復興についてなにができるかを考えました。

## 「特命子ども地域アクタープロジェクト」

24年度新しい公共として神奈川県と協働でスタートした「特命子ども地域アクタープロジェクト」は今年度も予算がゼロの中、一部よこはま夢ファンドの助成をうけ、なんとか続けてきました。公募で集まった小学5年～高校3年までの19名の特命子ども地域アクターが、10のまちづくり団体に行き、企画から参加できるように調整し、活躍してもらいました。今年度も神奈川県と協働事業で行い、成果発表会は神奈川県庁の大会議室で行うことができました。そして25年度中に、かながわボランティア活動推進基金21に事業提案し、採択され、今後も継続できそうです。

私たちはこれからも、掲げた理念、「まちづくり」を通して、大人も子どもも、生まれてきたすべての人が、社会の大切な一員であることをお互いに認め合い、助け合ってこそ、より良い社会がつくられるということ、楽しみながら学んでいくこと、を今後も目指していきます。

NPO法人ミニシティ・プラスが25年度おこなってきた主な事業は以下のとおりです。

---

### 特定非営利活動に係る活動

#### ①こどもが創るまち「ミニシティプログラム」の研究、開発に関する事業

##### ◆ミニヨコハマシティの開催

内容)こども会議を経て、3月にこどものつくるこどものまち「ミニヨコハマシティ」を行った。

実行期間)2013年12月こども会議、2014年3月ミニヨコハマシティ開催。

従事者人員)10人

受益対象者 19歳以下のこどもたち

支出額 1,235,182円

##### ◆ミニヨコなつまつり&野菜スイーツコンテスト

内容)ミニヨコのこどもたちが運営する夏祭り&スイーツコンテストを開催。JAから助成金をいただいた。

実行期間)2013年7月20日

従事者人員)10人

受益対象者 ひとりで開催できるこども～高校生までの青少年、一般の大人の方たち

支出額 251,344円

#### ②「ミニシティプログラム」の普及・啓発に関する事業

内容)環境学会参加のためのポスター作成。

ミニヨコハマシティ記録本「ミニヨコノミライトキセイ」のまとめと発行。(2013年11月15日発行)

従事者人員)3人

支出額 20,900円

③地域まちづくりの活性化を目指したイベントの企画・運営に関する事業

◆つづきジュニア編集局

内容)公募で集まったジュニア記者が、子どもたちの目線で、まちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる。新聞発行、発表会。今年度はドコモの助成金を受け、9名のつづきジュニア編集局記者が石巻に行き、取材し、現地の人たちと交流し、子どもシンポジウムも開催した。

実行期間)2013年4月～2014年3月

従事者人員)3人

受益対象者 小学4年～高校生までの青少年

支出額 1,502,082 円

④地方自治体や地域活動団体、国際交流団体等公益団体との協働事業

◆「特命子ども地域アクタープロジェクト」

内容)子どもがまちづくりに社会参画できる地域基盤を目指す。

公募で集まった18名の小学5年～高校生までの「特命子ども地域アクタープロジェクト」にまちづくり講座を横浜市立大学と協力し提供し、まちづくり現場(10団体)への派遣をNPOメンバーがサポートしながら行った。

「特命子ども地域アクタープロジェクト」の成果発表会を行い、広くまちづくり団体と青少年にかかわる団体に周知する。

従事者人員)10人

受益対象者 小学5年～高校生までの青少年

支出額 1,002,331 円

NPOからの従事者)10人

⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

横浜市健康福祉局に協力して、バリアフリークエストに、当団体の企画に参加している子どもたちと共に参加した。

支出額 3,000 円

NPOからの従事者)2人